

§12 第二原理の複数の解釈 — 学習カバー

イントロダクション

第二原理は前半の「各人の相対的利益」と後半の「平等に開かれている」が多義的であり、効率性原理／格差原理と、才能に開かれたキャリア／公正な機会均等の組合せから四解釈が導かれる。具体的には自然本性的自由の体系、リベラルな平等、自然本性的な貴族制、デモクラティックな平等である。

本日のミッション（目安 15分）

1. 穴埋め (§12) のキーワードを確認（7語）。
2. 鍵ページに入力して解錠。
3. クイズを開いて回答。

鍵ページ

- URL: <https://aketn.github.io/rawls3/sec12.html>

QRコード（鍵ページURL）



§ 12. 第二原理の複数の解釈

第 11 節で述べた通り、「各人の相対的利益」と「全員に平等に開かれている」という字句は多義的に解されるため、第二原理の二つの部分に対しておのおの二つずつの（それなりにもっともな）意味解釈を与えることができる。それぞれの解釈は互いに「背反するものでなく」独立して成り立つので、第二原理は「 2×2 の」四つの意味を合わせ持つことになる。〈平等な自由〉という第一原理が同一の意味解釈を一貫して保持しうると想定するならば、正義の二原理に関して四つの解釈が成り立つ。それらを示したのが次の表 1 である。

それぞれの解釈を見ていく。（第一原理は満たされていると想定する。）

		「各人の相対的利益」	
		効率性原理	格差原理
「平等に開かれている」	才能に開かれたキャリア（職業選択）としての平等	自然本性的自由の体系	自然本性的な貴族制
	公正な機会均等としての平等	リベラルな平等	デモクラティックな平等

表 1 第二原理の四つの解釈

① 自然本性的自由の体系

第二原理の前半部分は制度または社会の基礎構造に適応されるべく調整された効率性原理と理解される。後半は、「職業選択が才能に開かれている」という開放的な社会システムを志向するものと理解される。この解釈では、効率性原理^aを充たしており、地位を求めて努力する意欲と能力を兼備した人々にもろもろの地位が開かれているような、基礎構造が正義になった分配をもたらすとされる。

a 効率性原理とは、パレート最適原理を基礎構造に適用すべく定式化したものである。この原理によれば、他の日知人の暮らしを同時により困窮させることなしに、ある人々の暮らし向きが向上するように、経済の配置形態を変更することが不可能な場合にはつねに、塔の配置形態は効率的であるとされる。（格差理論や社会的選択理論に関する著作でもパレート最適原理の解説を与えてくれる。）

② リベラルな平等

才能に開かれた職業選択という要求事項に公正な機会均等原理という追加条件を付加することによって、〈自然本性的自由の体系〉の不正義を強制しようとする。つまり、地位は形式的な意味で開かれているべきのみならず、それらの地位に入れる公正なチャンス全員が持つべきだということである。

③ 自然本性的な貴族制

社会的な偶発性を統制する試みは形式的な機会均等が要求する範囲にとどまるべきものであり、それ以上の方策はいっさい講じられない。けれども、より優れた生来の資質・賦存を備えている人びとの相対的利益は、社会の貧民層に属する人びとの利益を促進するものに制限される。貴族制の理想は（少なくとも法的な観点からは）開かれたシステムに適用されるべきであり、そのシステムによって厚遇されている人びとの比較良好な状態は、次の場合にのみ正義にかなうと見なされる。すなわち、上流階級に与えられる財が減少すると、下流階級の取り分も減ってしまうという場合である。こうしてノブレス・オブリージュの理念が〈自然本性的な貴族制〉に繰り込まれる。

②も③もともに不安定である。なぜなら二者とも等しく独断・専横的で根拠がないためである。ここで、4つ目の「デモクラティックな平等」構想を次節では考えていく。

確認クイズ（§12 第二原理の複数の解釈）

1. 第二原理の四解釈は、・・・である。
2. 「各人の相対的利益」の解釈にはとがある。
3. 「平等に開かれている」の解釈にはとしての平等ととしての平等がある。
4. 〈自然本性的自由の体系〉は、基礎構造に適用されたと、を組み合わせる。
5. 〈リベラルな平等〉は形式的開放性にを付加して不正義を是正する。

- 7 2 ひとつの協働の枠組み
- 7 3 権利や義務、権限や免責特権
- 7 4 諸ルール of 公共的体系
- 7 5 公正さ・一貫性
- 7 6 原理そのものの正当性
- 7 7 構成ルール
- 7 8 戦略や格率
- 7 9 制度同士が単一システムへ結合される仕方
- 8 0 平等な基本的諸自由の最も広範な制度枠組み
- 8 1 各人の相対的利益になる
- 8 2 全員に開かれた地位や職務に付帯
- 8 3 逐次的順序
- 8 4 第一原理が第二原理に先行
- 8 5 政治的自由・言論の自由・良心の自由・思想の自由・人身の自由
- 8 6 所得・富の分配
- ~~8 7 職権と責任の格差を活用した組織設計~~
- 8 8 自然本性的自由の体系
- 8 9 リベラルな平等
- 9 0 自然本性的な貴族制
- 9 1 デモクラティックな平等
- 9 2 効率性原理
- 9 3 格差原理
- 9 4 才能に開かれたキャリア
- 9 5 公正な機会均等
- 9 6 効率性原理
- 9 7 才能に開かれた職業選択
- 9 8 公正な機会均等原理
- ~~9 9 公正な機会均等原理~~
- 1 0 0 格差原理
- 1 0 1 不遇な人々の予期
- 1 0 2 鎖状のつながり
- 1 0 3 緊密な接合
- 1 0 4 最も不遇な人の福祉の最大化
- 1 0 5 社会的・経済的利得
- 1 0 6 制限
- 1 0 7 完全な手続き
- 1 0 8 不完全な手続き